

# 夏のふるさとに、キラリと輝く笑顔と灯り

笑顔が見たい、地域を活性化したい、ふるさとの思い出をつくりたいなど、たくさん願いが込められた『町のお盆の風物詩』を紹介します。

『町の元気を見せたい。思い出になってくれればうれしい』

## 灯籠まつり。盆夜市

根雨・8月13日～15日

### 灯籠のやさしい灯りに和む

根雨まちなかに光を灯す第5回灯籠まつり（町商工会盆灯籠まつり実行委員会主催）が、8月13日から15日まで開かれ、根雨の本通り約1<sup>キ</sup>にわたって手づくりの灯籠250個が点灯されると幻想的な雰囲気になりました。

また、14日には、山陰合同銀行根雨支店横の駐車場を会場に盆夜市が開かれ、お盆で帰省した人たちや地元の人たちでにぎわいました。会場では、かき氷や焼き鳥などの屋台、金魚すくいなどの催しのほか、今年には鳥取県の民話アニメーションが上映され、子どもたちがふるさとの民話を楽しみました。

### 町の元気を見せたかった

今年で5年目を迎えた灯籠まつり。始めたのは株式会社

まちづくり日野で、町の活性化が目的でした。「灯籠を作ってまちなかに並べたらきれいではないか」と思いついたのがきっかけ」と、1回目から関わっている勝瀬節雄さんは話します。「灯籠はすべて手作り。小学生や地域で活躍する絵の愛好家に作成を依頼し、200個作成した」と振り返ります。

また、廃油ろうそくにも取り組んだこともあり、「廃油ろうそくは煙が多く、灯りも小さかった。おいに誘われ、ネコが寄ってきた」と苦労もあったそうです。

### つながりを作る役割がある

ふるさとへの帰省は8月に集中します。「根雨まつりも終わり、子どもたちが遊ぶところが少ない時期。灯籠まつりと盆夜市を喜んでくれる」と勝瀬さんはほほ笑みます。

盆夜市の会場では久しぶりの再会を喜ぶ姿があちこちで見られました。集う場所としては最高のもです。

「単なるイベントではなく、地域のお盆の行事として各自治会や根雨地区連合区とも連携していきたい。次の世代につなげることが自分たちの役割でもある」と表情を引き締めます。

さらに「マンネリ化させてはいけない。また子どもたちに絵を描いてもらう、吹き流しを飾りにぎやかさを出すなど変化を持たせたい」と思いは尽きることはありません。

最後に「これからもお盆の3日間は家族そろって灯籠の灯りを見てほしい。町の元気を帰省した人に見てもらい、ふるさとに帰ってきたいというきっかけになれば」と勝瀬さんは笑いました。

根雨まちなかの通りに設置された灯籠。ほんやり灯る



帰省客ら多くの人出でにぎわう盆夜市



おいしいソフトクリームが人気



くじ引きに子どもたちは興奮する



『城があったことを知ってほしい。その歴史は、まだ多くの謎に包まれているんだ』

# 鏡山城址ライトアップ

黒坂・8月14日

## 歴史に思いをはせる

8月14日、黒坂にある鏡山城址を照明で照らし出すライトアップが行われました。

これは、城址の保存・活用で地域を盛り上げようと活動している黒坂鏡山城址を知ろう会（牧智也会長）が企画しているもので、今年で3回目。暗くなるにつれて、その幻想的な姿をひと目見ようと多くの人が訪れました。

## 石垣よ、よみがえれ

平成19年に同会を設立。まず、鏡山城址を知ってもらうために何かやろうと会員らはすぐに動き出しました。

城址の石垣は長い年月、竹に覆われていたため、設立前から地元ボランティアによる竹の伐採が行われていました。ライトアップに向け、さらに石垣が現れるよう竹の伐

採を進めコケや泥を取ったそうです。さらに「照明を設置する配線や発電機の設置などは当時の苦勞を話します。

## 思い出よ、よみがえれ

きっかけは「帰省した人に見てほしかった。昔、城址に登って遊んだ人の思い出をよみがえらせたかったし、あの場所に城があったことを知ってほしかった」と牧さん。遊び場だったころの思い出を話します。同会が活動して、情報発信すると、初めて知ったという人もたくさんいたことが分かりました。

話題性もあり、第1回、第2回と盛り上がりました。イベントとして、琴の演奏や日本舞踊の披露も。来年は同会発足5周年であり、盛大なライトアップイベントの計画を予定しているとのこと。皆さ

ん期待してください。

## さらに魅力を情報発信する

県内の城の歴史に比べ、まだまだ解明されていない謎の多い鏡山城。「歴史が謎に包まれているため、県も注目している。魅力的な地域資源を活用していきたい。今後も語り継がれていくよう、歴史の解明に尽力する」と牧さんは表情を引き締めます。

また、今年と同会会員の家族によるインターネット中継が行われました。お盆にふるさとに帰省できない人のために浮かび上がった石垣を中継。多いときには数十人が見ているとのこと。新たな情報発信の方法として会員は期待しています。

同会は毎週金曜日、午後7時30分から町公民館で定例会を開いています。今後も活動に目が離せません。



ライトの向きを確認する黒坂鏡山城下を知ろう会の会員の皆さん



黒坂駅前通りから見た城址。のぼりの赤とサルスベリの桃色の花が映える



電車からも石垣の様子を見ることができる